

まちづくり

提案・意見

公園の遊具の整備（修繕）について

（回答：3月8日時点）

令和4年度予算で、朝熊山麓公園と大仏山公園の遊具増設の予算化があり、子供たちも利用させてもらっているため大変嬉しく思いました。

できれば、イオンモール津南さんの子供広場にあるジャンボスライダーのようなたくさんの子供が同時に、かつ安全に滑れる滑り台を希望したいです。

このように、大規模な公園整備の予算化がされている中、実は地元の公園（一色公園）にある家型の滑り台ですが、一部破損？しているため、中の椅子部分が立ち入り禁止となった状態がずっと続いています。近くの公園（通公園や黒瀬向山公園など）が整備（新しい遊具等）されていますが、一向に修理等されません…。

撤去と言う残念な対策（撤去であれば、他の新しい遊具の設置などを希望）ではなく、順番もあるとは思いますが、何か対応を早急にしてほしいと思います。

もし対策の予定や時期などがわかっているのであれば、知りたいなと思っています。

長々と意見を書かせていただきましたが、よろしくお願いします。

回答

遊具の選定につきましては、アンケート等によりなるべく多くの意見を取り入れて選定したいと考えておりますのでご理解のほどよろしくお願いします。（基盤整備課）

一色公園における家型滑り台の修繕につきましては、対応が遅れており申し訳ございません。

ご指摘の遊具につきましては、座面の修理に向けて現在業者と相談・見積依頼をしているところです。

時期につきましては、令和4年4月中に完成する見込みですので、今しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。（維持課）

担当課

基盤整備課、維持課（2022年3月回答）〔3/7～3/11〕

その他

提案・意見

選挙のおしらせ その後（回答:3月7日時点）

私見）2022（令4）1月11日投稿文「選挙のおしらせ」を回顧する。

世の中はまさにインターネット時代 わざわざ実名で住所を記入し投稿しています。文を下書き考察して投函しておりますが、質問すると回答しやすいところが誇張されて、いるため付箋を付けるように、しております。質問は回答してもらってますが（提案）（意見）（要望）の項目は無視される事が多く、みられます。

質問）意見1は、どう思いますか。

質問）意見2は、どう思いますか。

質問）意見3 松阪市の考えはどう思いますか、松阪市の借金時計はまねる事はありません 行政の借金は増えるのみで無い方が良くように思います。

質問）提案1はどう思いますか 選挙は金がかかるとはこの事のように思います。

質問1）回答文はいつも市長印が押されていますが今回の返事は伊勢市選挙管理委員会事務局長になっていますが何故でしょう。

質問2）過去に選挙公報が選挙日の前日に届いた事がありました。参議院選挙だった、この事をどう説明しますか。（2016平28 7月15日 私が組長をしていた。〇〇町から5世帯分の選挙公報が選挙日の前日に届いた。）

過去の事でなく選挙公報の遅延をどう説明しますか。

回答

質問）意見1・2について、選挙は公正、公平な執行が求められ有権者の一票が無駄にならないよう周知啓発に努めております。今回の衆議院議員総選挙と伊勢市長・伊勢市議会議員選挙の同日選挙となりましたが、それぞれの選挙ごとに投票できる基準や投票方法など異なる部分があるため今回の投票場所等も含め掲載し、周知啓発として発行しております。今後、頁数の削減等を含め検討してまいりますのでご理解のほどお願いします。

質問）意見3について、松阪市の取り組みは、市民への財政意識を高める取り組みと認識しています。健全な財政運営で取り組むように努めてまいります。

質問）提案1について、各選挙期日や期間の周知・啓発を含めて投票場所の周知は必要と考えておりますが、今後、ご提案のあったことも念頭に頁数の削減等を含め、選挙啓発組織であります伊勢市明るい選挙推進協議会とも協議検討してまいりますのでご理解のほどお願いします。

質問1）独立した行政委員会となりますことから選挙管理委員会事務局として回答しています。

質問2）選挙公報の配布については、現在、業者によるポスティングで対応しています。少しでも早くお手元に届くように準備し配布することとなっておりますが、一部地域で遅れがあり申し訳ありませんでした。今後、ホームページ上にも掲載されている旨の周知啓発等含め、委託業者と連携を強化して対応してまいります。

担当課

選挙管理委員会事務局（2022年3月回答）〔3/7～3/11〕

その他

提案・意見

意見、提案（回答:3月9日時点）

意見、提案を述べさせて頂きたい。

コロナ前に伊勢に来て驚きました。上下水道部には仕事せずに、フラフラしている職員が何人かいる。人件費、光熱費、ガソリン代等が無駄ではないか。そんなに余裕があるのなら職員数を減らす、水道代を下げる等もう少し市民の為に考えてほしい。一方で大変な思いで勤務している職員が気の毒だ。コロナで収入のない人が大勢いる。一円でも1銭でも市民の為に料金を安くする考えはないのか。

税金、料金を払う気になれないので、早急にホームページ上の市民の声に回答を頂きたい。

回答

この度は、上下水道部職員の勤務態度により、不快な思いをさせることとなり、誠に申し訳ございませんでした。ご指摘いただきましたことを真摯に受け止め、今後は、このようなことが無いよう、改めて部内職員に対し指導してまいります。

また、コロナ禍で大変な思いをされている方がおられる中、水道料金に係る対応につきましては、減免等の措置は講じていませんが、生活不安に対応するための緊急措置として、一時的に水道料金等のお支払いが困難な方を対象に、納付猶予の措置を行っています。

担当課

上下水道総務課（2022年3月回答）〔3/7～3/11〕

その他

提案・意見

伊勢病院のコロナ濃厚接触者検査費用

(回答:3月11日時点)

家族がコロナに感染しました。私たち同居家族が濃厚接触者になり保健所から伊勢病院にPCR検査に行くように言われドライブスルー検査に行きました。「検査に若干のお支払いが発生します」と説明もされ後日支払いしました。窓口では特に説明もなく普段の受診のように、3割負担でひとりあたり2,500円。ん？

初診料の負担はどこの病院でも仕方ない。と思いきや、別紙の明細書を見て目を疑いました。初診料以外も請求されています。

伊勢病院に問い合わせると、「国からの通達で請求できることになっていて伊勢病院は請求する方針」とのことですが。

日赤病院で検査した家族は負担0円。

伊勢病院で検査した家族は負担2,500円×人数。

この差は为什么呢。

病院で勤務されてる方が防護衣を着て感染のリスクにさらされ通常の業務が出来ないことは理解できますが、同じ伊勢市民、同じ保健所の指示でのことです。鼻の奥を綿棒で傷つき出血しても文句言えないのですよ。

伊勢病院が必要とするならば、伊勢市のコロナ予算で市民の本人負担をなくす、軽減する、できないものでしょうか

感染した家族（本人）には、病気の負担、心身の負担、それに金銭の負担
同じ思いをする市民が増えないように

人間性豊かな市民病院になりますように。

感染してご面倒かけてすみませんでした。

回答

保健所からの指示により実施するPCR検査は、法に基づく検査となるため、検査料の個人負担はありません。しかし、その検査に関連し、初診料等の個人負担が発生する場合があります。検体採取のみの場合は個人負担が発生しないこともあります。その他の診療行為については厚生労働省の規定に基づき算定を行い、患者様の保険負担割合に応じたご負担が発生いたします。

現在、患者様のご負担に対して支援制度は設けておりませんが、ご意見のありましたことを県や保健所とも共有してまいります。

また、検体採取の方法上、痛みを伴うこともあります。ご理解賜りますようお願いいたします。

誰もが対象者となりうることから、罹患された方が誹謗中傷の対象とならないよう、さらに啓発に努めてまいりたいと思います。（健康課）

市立伊勢総合病院においては、PCR検査に係る費用として、厚生労働省の通知による診療報酬上の取扱いに基づき算定を行い、ご請求させていただいております。対象となる患者様に対しては、ご理解をいただけるよう丁寧な説明に努めてまいります。（市立伊勢総合病院）

担当課

健康課、市立伊勢総合病院

(2022年3月回答) [3/7~3/11]

その他

提案・意見

基礎疾患を持つ障害者のワクチン優先接種について-4 (回答:3月9日時点)

ご回答いただきましたが、障害者の優先接種について はなから検討する気のないゼロ回答で残念です。

私が当初、市政への提案箱に本件の提案をさせていただいたのは1/31です。今はもう3月です。十分な対応期間があったはずです。

ご回答には “必然的に初回接種を優先的に終わられた順に…” と書かれていますが、ワクチンが余っているとご自分で説明しておきながら何が必然なのでしょうでしょうか？

できる方法を考えず、できない方法ばかりを考えているから「必然」と言う言葉が出てくるのではないですか？

固定観念が支配していて思考が停止しているから「必然」という言葉が出るのではありませんか？

優先接種が始める時点で以下のようにアナウンスしていただければ可能だったのではないですか？

①3回目接種からは優先接種者として障害者の方を加えます。

②障害者の方には市から順次接種券を郵送いたします。

③接種券がなくても2回目接種から6か月を経過した方であれば2回目の予防接種済証と障害者手帳を提示していただくか、市の障がい福祉課を通じて予約が可能です。

「伊勢市の予約枠にはまだ余裕があり、2月25日12:30現在で集団接種会場の3月分の予約枠には、まだ6,000枠余りの余裕がございます。」

とご回答されていますが、残念ながら現状は接種を急ぐべき人が6か月を経過して、早く接種したいと思ってもその余裕分についての情報も応募する手段もないのです。

他の自治体では接種券なしでも予約できるようになったと聞きますが、伊勢市においてもそのようなアナウンスがないから本来接種を急ぐべき人にワクチンが渡らずに余剰ができるのではありませんか？

私の場合は2回目接種から7か月を越えてから予約ができるようになりました。

ワクチン接種希望者が殺到して事態を収拾できなくならないように予防線を張っているのではありませんか？

上記に提案させていただいたように、障害者も優先接種に加えていただければもっと早くワクチン接種できたと思っています。

打つべき人打てる人から片っ端にうてるようにしていただければ良いだけです。

問題は優先接種の順位を障害者も高齢者と同レベルに引き上げていただくようお願いしているわけで、指定の接種間隔に達すれば優先接種者が予約できるようにしていただければ良いのです。

「できる」のに「できない」と言われる理由が説明されていけませんので、できないのであればその理由を説明すべきです。

第7波も発生する可能性があります。

是非とも次のワクチン接種機会には障害者も優先接種対象に加えていただきますようお願いいたします。

回答

ご指摘のとおり、障がい者の方が特に「優先」とはなっておりませんが、皆様が「指定の接種間隔に達すれば」予約できる状況となっており、まだ予約いただける枠もございますので、改めて現状を説明させていただきます。

今回、ご指摘いただいておりますが、現在、伊勢市では2回目接種から6か月以上経過された方には、随時、接種券とともに予約方法のご案内を送付させていただいております。3月7日時点においては、2回目を令和3年9月12日までに接種された方々へ既にご案内をお送りし、伊勢市相談・予約センター（電話番号：0800-200-0115）への電話またはWEB、LINEにより、空き枠状況のご確認及びご予約が可能となっております。

接種を希望される場合は、お早めにご予約ください。

今後とも新型コロナワクチン接種事業へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

担当課

健康課 （2022年3月回答） [3/7～3/11]